

わくわく倶楽部

江口グループ

第201号

令和6年4月発行

新たな旅の始まり。 新入社員たちへのメッセージ

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



い つも江口グループわくわく倶楽部ニュースレターを読んで頂きありがとうございます。また先月行いました200号記念プレゼントキャンペーンに多くのご応募を頂き感謝申し上げます。応募頂いた皆さまの元へは、もうプレゼントが届いていると思います。ぜひご活用下さい!

さ て、4月になり江口グループには新しい仲間が4名入社しました。今後、皆さまの元へ行く時があるかもしれません。その時はどうぞよろしくお願いたします。4人とも高校を卒業し、社会人となりました。高校生から社会人となると大きく環境が変わります。高校生と社会人生活の違いは大きく、様々な変化に直面することになります。この過渡期において、気持ちも行動も社会人仕様にシフトしなければいけないと思うのです。どのようなことが変わるのか考えてみました。

まず、責任感の重さが変わります。高校生の時は自分自身の成績や進路に責任を持つことが中心でしたが、社会人としては会社やチームの目標達成に貢献する責任が求められます。個人の行動が組織全体に影響を与えるため、プロフェッショナルとしての態度と行動が常に期待されます。次に、コミュニケーションのスタイルが変わります。学校での友達や先生とのコミュニケーションは比較的自由かつカジュアルであることが多いですが、職場ではよりフォーマルなコミュニケーションが求められます。敬語の正しい使い方、Eメールや文書のビジネスマナー、会議での発言の仕方など、社会人として適切なコミュニケーションスキルを身につけることが重要です。また、時間管理の重要性が高まります。学生時代は授業の時間割に従うことが多いですが、社会人としては自分で仕事の優先順位をつけ、効率的にタスクを管理する必要があります。期限内に質の高い成果を出すためには、時間管理能力が不可欠です。さらに、学び続ける姿勢も大切です。学校を卒業したからといって学びが終わるわけではありません。社会人になっても、新しいスキルを身につけたり、業界のトレンドを追いかけてたりする必要があります。

ます。自己啓発や社内研修に積極的に参加し、常に自分をアップデートし続けることが大切です。最後に、ワークライフバランスの意識を持つことも重要です。仕事だけでなく、私生活や趣味など自分自身の時間も大切にすることで、心身ともに健康で充実した社会人生活を送ることができます。

新 入社員たちがこれから歩む社会人生活は、楽しいこともあるかもしれませんが挑戦や困難が多いと思います。しかし、その全てが自分自身の成長へと直結しています。日本には「石の上にも3年」という言葉があります。昔の人はいいことを言ったなと思います。これは、どんなに辛く厳しい環境であっても、忍耐強く努力を続けられれば、最終的には良い結果が得られるという教訓を含んでいます。

社会人としての1年目は特に、新しい環境、新しい責任、新しい人間関係に適応することによるストレスが大きいかもしれません。しかし、これらの挑戦を乗り越える過程で、貴重なスキルを身に付け、人としても大きく成長することができます。問題解決能力、コミュニケーション能力、時間管理能力など、学生時代には学べなかった多くのことを学び、磨き上げていくことができるのです。

「石の上にも3年」という言葉には、一見動かないように見える石の上でも、長い時間をかければその環境にも変化が生じ、苦勞が報われるという希望が込められています。社会人生活も同様で、初めは大変に感じることも多いかもしれませんが、地道な努力と忍耐がやがては大きな成果となり、自分自身の価値を高めてくれることだと思えます。将来を見据えた時、今の苦勞や努力が自分のためになることを忘れないで欲しいなと思います。一時的な困難や失敗は、より強く、賢く、柔軟になるためのステップに過ぎません。困難を乗り越える度に、自分自身が成長し、将来への確かな一歩を踏み出すことができます。新入社員たちは人生の長い旅の始まりに立っています。前向きな心持ちで一步一步確実に進んでいって欲しいなと願っています。

江口グループ現場だより

社員みんなで掴み取ったから嬉しさが倍! -土木業界ダントツSNS。社員たちが活躍する土木広報-

み さんこんにちは。CHIKACO姉さんです。
この度、江口組は「土木広報大賞2023」において、社員みんなで土木の魅力を発信を続けたSNSの活動が評価され「企画部門」で準優秀賞を頂きました!

土木広報大賞とは、土木学会が2年に1度開催し、暮らしを支えている「土木」の役割・意義・魅力について広報活動を表彰する「土木の広報に関するコンテスト」です。

土木のイメージアップや土木のことをたくさんの方に知ってもらうための江口組の公式SNSでは、現場の様子や働いている社員のことを投稿し、最近では能登半島地震の啓開作業のことを投稿すると、たくさんの方々から「頑張ってください!」「ありがとうございます」などの激励や感謝のコメントをたくさん頂きました。

ま た社員個人のSNSでは個々が日々様々な工夫をし投稿を行っています。土木を知らない人にも土木の魅力、面白さを伝える投稿や江口組の会社の雰囲気や伝わる投稿、見て下さっている方々へのお役立ち情報など、そしてプライベートのことも積極的に投稿しています。

そうすることで社員の人柄も伝わり親近感も沸き、よりたくさんの方に見て頂けました。そのことも評価につながったのではないかと個人的に思います。

なにより、社員の毎日の頑張りが「受賞」という形にあらわれたことをとても嬉しく思います。

これからも土木の魅力を発信するのはもちろん、会社のこと、見て下さっている皆様がワクワクするようなこと、そして能登のみなさんへ勇気や元気を届けられるよう、SNSをやっている私たちも楽しみながら発信し続けていきます。



広報部新入社員まあちゃんのInstagram土木素人の彼女だからこそ、わかりやすく、かわいく土木の魅力を発信してくれています。ぜひチェックしてみてください!



表彰式にて、江口社長(左)と選考委員の小松氏(右)と。頂いた表彰状は社員みんなの頑張りの証



江口グループ全体で、能登の皆さんへ私たちができることは何かを考えました。 地域の為、そして被害に遭われた能登が少しでもやく復興できますようにと、私たちができる支援を行いたいです。

皆 さんこんにちは。総務部のむらきです。
江口グループでは今年発生した【令和6年能登半島地震】への義援金を集めることにしました。

工事部の方が毎月能登の道路啓開作業へ向かったり、小松市内で地震の影響を受けた箇所の応急対応を行ったりと、地域の為に、能登の為に行動が行われている中、まだ私たちにもできる事があるのではないかと思います、今回【義援金】を会社内で集めることにしました。

募金箱もオリジナルキャラクターを使い、可愛らしく飾り付けをし、江口グループの若手社員が中心となって皆さんに呼びかけを行っています。

1 月の終わり頃からはじめた募金活動ですが、始めた当初から社員皆さんの「能登を応援したい」という気持ちがたくさん集まっています。

能登の皆さんに少しでもお力添えができるよう、今私たちができることを精一杯行っていきたいです。



早速社長が募金をして下さりました! 能登の皆さんに気持ちが届きますように。



手作り募金箱です。オリジナルキャラクターにハートを持たせて、私たちの気持ちを表しました。横にはくーとみいーもいます。

このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/

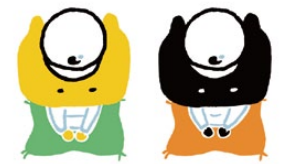


(株)江口組公式 X(旧Twitter)

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^^)／



くーの現場通信 その4

お久しぶりの建設ディレクターくーです。長い冬が
 終わり春を迎え、我が家も子供たちの巣立ちで嬉しいや
 ら寂しいやら、複雑な気持ちで新たな環境を迎えており
 ます★

新年早々の能登半島地震。大きな被害を受け、3ヶ月
 経った今もなお不便な生活をされている方も大勢いる
 状況です。震災直後は、半島という地形の特徴があり、
 特に陸路が途絶えた地区が多く、支援・復旧活動の大き
 な妨げとなりました。そのため、最優先事項として陸路
 の確保が急がれました。江口組も県内の建設業者として、
 早期より能登方面へ行き、支援活動に参加しております。

多くの建設業者が各道路を担当し、陸路確保のため
 に行われた『道路啓開』作業。道路啓開とは、緊急車両
 等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理等を行い、
 簡易な段差修正等により救援ルートを確認する作業の
 ことをいいます。テレビ等の報道で全国から救命活動や

自衛隊の方々がたくさん駆けつけ
 て下さり、能登のためにご尽力し
 て下さいました。その際の数多く
 の車両を通すために必要となる
 『道路』を最前線で切り開いてい
 るのは、私たち建設業なのです。震災
 直後から昼夜とわず行われ、日々
 通れる道を確認していきました。余震もあり、自身の安全確
 保にも留意し、寝袋持参で車中泊しながらの作業…。苦勞
 も大きかったことと思います。全ては「能登のため!」みんな
 の熱い想いで、能登への道は繋がりました! 本格的な復旧
 および復興へはまだまだ時間はかかりますが、私たちにで
 きることをこれからも頑張ります!!



道路啓開作業実施状況



道路啓開実施後



はるかの
 お困りごと解決!

あなたのお家を火事から守るために! ~住宅用火災報知器の定期点検の重要性~

お久しぶりです。クリエイション江口のはるかです。

あつという間に4月ですね。今年もクリエイション江口に
 新しい仲間が増えるので嬉しいです(*^_^*) 新生活を迎え
 られる方もいると思います。皆さんの新しい生活が楽しい
 ものになりますように!

さて今回は新しい環境で生活をスタートした方も、長く大
 切なお家に住んでいる方も知っておいて欲しいことです。
 住宅用火災報知器の点検を皆さんはしたことがあります
 か? 設置する場所は寝ていても気づけるように寝室と寝室
 がある階の階段です。

総務省消防庁によると総出火数のうち住宅火災は約3割
 ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約7割だそう
 です。そして、住宅火災における被害状況は火災報知器が
 設置されている場合は、設置されていない場合に比べて死
 者数と損害額はなんと半減、焼損床面積は約6割減という
 結果でした。この結果からも、お家にあるたくさんの思い出
 や大切な品物を失わないためにも火災報知器の重要性が
 判るかと思ひます。

住宅用火災報知器の設置が義務化になって10年以上経
 ちました。付けてからそのままという方も多いかもしれませ
 ぬ。火災報知器の交換の目安はおよそ10年です。実際に電池切
 れや不具合によって、火災報知器が鳴り出して交換をしたお
 客様がいらっしゃるひますので、**家族を守るためにも正しく作
 動するか確認を!** そして**10年以上経過しているものは交換
 をおすすめします!** メーカーによって確認方法が変わりますの
 で、もし判らなければお気軽にクリエイション江口の高橋ま
 でご連絡下さい。

その他にもおうちのお困りごとはありませんか?

電話0761-24-0018 お電話でしたら「4月号のニュー
 スレターを見た」とお願ひ致します。もしくはQRコードをスマ
 ホで読み
 取り、必
 要事項を
 入力しご
 連絡下さ
 い。



↑
 お申込フォームは
 コチラ

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



(株)江口組公式 Instagram
 eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
 えぐチャンネル!



スタッフ通信

みなさまのお陰で、わくわく倶楽部も無事200号を迎えることができました。
 今月も、第1号が発行された2007年(平成19年)夏頃何をしていたかを聞きました。

工務部
山根 勝敏



H19年は建築部門へ配属替えとなり、畑違いの業界で仕事することになったので、毎日勉強していた。

山根

クリエイション江口
中田 さやか



ニューレター 初期刊メンバーとして
 お客様の取材に奮闘していました！
 ハートの紹介、お店紹介、
 お料理やお作りなど。
 たくさんのお客様にお世話になりました！
 その節は本当にありがとうございました。



どうぞ引き続き
 ご愛読よろしくお願ひ致します!!

クリエイション江口
高橋 悠

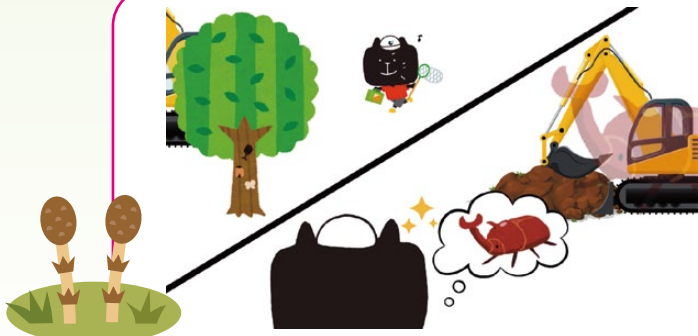


『自己変革』
 京都職下は初めて新入社員として郡内のポイント
 アポイントメント員として働いていました。
 仕事を社会人として覚える事が多かったです。
 個人レベルを乗り越えるために先輩社員の接客を
 耳で学ぶのよりして聞き、アプローチの方法や入社の
 仕方を覚え、自分の接客に役立てることにしました。
 自分の長さを意識し、人との接し方が上手い出来事には
 人員不足の自分と大差を覚悟させ始めた頃でした。
 良友に同期の皆さんに助けられました。



虫が好きで、よく虫取りに行っていました。
 ある日、いつも通り虫取りに行ったとき
 工事現場を見つけました。
 そこで動いている重機をみて
 大好きなカブトムシに似てる!!!
 と思いました。
 それが僕が土木にハマる瞬間でした。

ぐぐ



ご意見・ご感想などがございましたら
 SNS または 同封してあります
 アンケートハガキにてご連絡下さい!!



発行元 **EGUCHI**
江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
 TEL.0761-24-1311代
 eguchigumi@eguchi-group.co.jp